

「ブラ大志2 (大志連区を巡るウォーキング)」

大志連区地域づくり協議会 地域活性部会 令和5年2月5日(日)

役員用

見て！ 視て！ 観て！
愛！ eye! ふれあい！
大志(だいし)マップ



1 葵公園

徳川家康が関ヶ原の戦いと大坂冬の陣に向かう途中、真清田神社へ戦勝祈願した際、立ち寄った佐分五郎兵衛清政宅がここにあった。屋敷の藪中から、旗竿にする竹をとり、家康に献上したことが『尾張名所図会』から分かる。そんな縁で、この辺りは「御藪町」「椿町」「御朱印地町」という町名だったが、現在は本町2丁目となっている。



「①葵公園」は、葵の紋（家の印）に関係のある武将が立ち寄ったところです。その武将は誰ですか？正しい武将に○を付けて下さい。

- () 織田信長
- () 豊臣秀吉
- () 徳川家康

3 常念寺(西山浄土宗)

明德元年(1390)足利尊氏の甥とされる空遄召運上人の開山で、旧九品寺の阿弥陀仏が本尊。天正年間(1573~93)兵火で炎上したが、一宮城主関十郎右衛門が、城の鬼門鎮護のため現在地に移し菩提寺とした。一宮城主関氏三代の墓がある。「蓮の寺」としても知られ、手水舎に浮かべた紫陽花も有名。



「③常念寺」には、一宮城主・関氏の墓(塔)があります。関氏の墓(塔)は、何基ありますか？

- () 1基
- () 2基
- () 3基

4 福寿院(真言宗豊山派)

神亀年間行基の創建、弘仁年中(810-823)弘法大師が伽藍を整備したと伝えられる。文永年中(1264~)空円上人が再興、10坊を構えた。室町期の建立とされ、明治34年に旧国宝に指定された多宝塔は、昭和8年に焼失した。昭和20年空襲により本堂なども焼失している。本尊は十一面観音。



【焼失した国宝・多宝塔】

「④福寿院」本堂の右前(道沿い)にお地蔵様(地蔵尊)が3体(尊)安置されています。このお地蔵様はどちらの方角を向いていますか？

- () 東 () 西
- () 南 () 北

6 八剣社・ポルトガル語の反抗碑

八剣社は、古くは福寿院の境内であった。「開祖空圓上人」と刻まれた碑の裏側には「センチセ（判決）」、台座には「クロタセウ（磔刑火炙り）」と文字が彫られている。寛永8年（1631）から、756人もの人が斬罪・磔に処せられた。難を免れた信者が空円講と称して祀ったといわれている。火炙り刑は一本松塚（現・黒姫神社）で行われた。十字が刻印された主碑と由緒碑は浅野公園に移され、殉教者の霊を慰める「水かけ地蔵」は印田常光庵にある。



「⁶八剣社」お社の左手にある碑には、^{センチセ}センチセ（^{はんけつ}判決）、^{くろたせう}クロタセウ（^{はりつけいひあぶ}磔刑火炙り）と彫られています。この碑の正面には何と書かれていますか？

- () ^{かいそくうかいしょうにん}開祖空海上人
- () ^{かいそくうえんしょうにん}開祖空円上人
- () ^{かいそくうえんしょうにん}開祖空圓上人

7 一宮城跡

関氏は、代々真清田神社の神主をし、社領を守るため城を構えた。東西が約 50m、南北が約 90mの城域を誇り、四方は幅 3.6mの堀と土塁で守られていたという。関長安は、信長、秀吉に仕え、天正12年、小牧・長久手の戦いで討死した。秀吉も立ち寄ったことがあったが、天正18年（1590）廃城になった。神山小学校は、明治42年（1909）、ここ城屋敷跡に「一宮第三尋常高等小学校」として、設立された。



「⁷一宮城跡」一宮城主であった関長安は、次の誰につかえましたか？

つかえた武将すべてに○を付けて下さい。

- () ^{おだのぶなが}織田信長
- () ^{とよみひでよし}豊臣秀吉
- () ^{とくがわいえやす}徳川家康

8 三八市の市神堂旧地

三八市の市神様を祀ったお堂があった。三八市は享保12年（1727）に始まり、日常品や綿の取引が行われ、天保13年（1842）には500以上もの店が真清田神社門前から地蔵寺あたりまで軒を連ねていた。現在でも、はねあげ店が門前両側にその姿を残している。かつて、この辺りは東西の道の交差点で、真清田神社二の鳥居があった。



「⁸市神堂旧地」には、何を祀った神様が置かれていましたか？

- () ^{いちのみやし}一宮市
- () ^{さんぱちいち}三八市
- () ^{しやくしょ}市役所

- ①午前9時30分 葵公園集合・説明 10時出発 午前中で終了予定
- ②コロナへの感染予防は各自でお願いします（3密防止、マスク、手洗い）
37.5℃以上の方は、参加を控えてください。
- ③参加者全員に、行事保険がかけてあります。けが等されましたら
お近くのスタッフまたは事務局まで連絡ください。
事務局 木村（090-1832-9029）
- ④葵公園を発着点として、大志連区の歴史や文化に触れながら、
約1.5kmの健康ウォーキングです。大志連区の北方面にある寺社や
史跡をめぐり、クイズラリーを行いながら歩きます。あなたが知らな
かった我が大志の歴史を発見しましょう。
- ⑤歩道のあるところは歩道を、その他は交通に十分注意して歩きましょう。
- ⑥6か所のポイントには、クイズの回答を支援する中学生/スタッフが
おります。安全等にも注意を払いますので、指示に従ってください。
- ⑦参加費は無料です。
- ⑧参加賞は、受付をして、完走後に答え合わせをして受け取ってください。
尚、事前申込者に限らせていただきます。雨天は別コース検討中です。
- ⑨大志子ども会「D☆Friends」で参加している小学生のみなさんには
別途参加賞があります。
- ⑩「ブラ大志2」は、お正月に皆さんのお宅にお届けした
「大志（だいし）マップ」の発行記念行事です。あなたの自宅に近い
マップに記載のある「名所・旧跡/おたちよりスポット」は
何番のどんな場所ですか →（ ） _____
- ⑪大会中の写真やクイズの回答、詳細説明資料を 地域
づくり協議会のHP（ホームページ）に掲載します。
最新ニュース <https://138daishi.org/news-daishi/>
または、右のQRコードから入り
「ブラ大志2のお知らせ」を
クリックしてご覧ください。



- 1 「①葵公園」は、葵の紋(家の印)に関係のある武将が立ち寄ったところです。
その武将は誰ですか？正しい武将の○を付けなさい。
- () 織田信長 () 豊臣秀吉 () 徳川家康

<解説>

- ◆1600年「関ヶ原の合戦」のとき、徳川家康は関ヶ原へ向かう途中、一宮により、佐分家(さぶりけ)の屋敷で休憩し、真清田神社で戦勝祈願(せんしょうきがん)をしました。
- ◆その際、佐分氏は、屋敷の竹藪(たけやぶ)から、戦いの旗竿(はたざお)にする竹をとり、家康にさしあげました。
- ◆関ヶ原の合戦は、見事、徳川家康の東軍が勝ちました。
- ◆1614年、豊臣方(とよとみがた)と戦った「大坂冬の陣」のときにも、ここに立ちよって戦いにいどみ、勝利しました。
- ◆そのようなことから、この辺りは、かつて、徳川家の葵のご紋からの「葵町(あおいちょう)」、幕府から土地を認められたという意味の「御朱印地町(ごしゅいんじまち)」という町名(ちょうめい)がついていました。現在は、本町2丁目になりました。
- ◆明治天皇が全国をお回りになったとき、一宮では、ここに佐分家に立ち寄られました。

1 葵公園

徳川家康が関ヶ原の戦いと大坂冬の陣に向かう途中、真清田神社へ戦勝祈願した際、立ち寄った佐分五郎兵衛清政宅がここにあった。屋敷の藪中から、旗竿にする竹をとり、家康に献上したことが『尾張名所図会』から分かる。そんな縁で、この辺りは「御藪町」「椿町」「御朱印地町」という町名だったが、現在は本町2丁目となっている。



2 「③常念寺」には、一宮城主・関氏の墓（塔）があります。関氏の墓（塔）は、何基ありますか？

() 1墓 () 2墓 () 3墓

<解説>

- ◆常念寺は、1390年、足利尊氏（あしかがたかうじ：室町幕府をつくりました）の甥（おい）といわれている空湊召運上人（くうせんしょううんしょうにん）がこのお寺をつくりました。
- ◆今はない九品寺の阿弥陀仏が本尊（ほんぞん：大切な仏様）です。
- ◆今はない九品寺は、現在の九品地競技場の辺りにありましたが、廃寺（はいじ）となりなくなりました。
- ◆廃寺（はいじ）となった九品寺の阿弥陀仏を本尊にして、常念寺のもとをつくりました。
お寺は、はじめ、北の方にありましたが、火事で焼けました。
- ◆一宮城を建てた、城主関成重（せき なりしげ）（別名：関十郎右衛門せきじゅうろうえもん）がこれを嘆き（なげき）、城を守るために現在の地に常念寺を再びつくり、自身の菩提所（ぼだいしょ）としました。
- ◆ここ本堂前に一宮城主関氏三代の墓があります。
- ◆関氏については、一宮城跡で解説があります。

③常念寺（西山浄土宗）

明徳元年（1390）足利尊氏の甥とされる空湊召運上人の開山で、旧九品寺の阿弥陀仏が本尊。天正年間（1573～93）兵火で炎上したが、一宮城主関十郎右衛門が、城の鬼門鎮護のため現在地に移し菩提寺とした。

一宮城主関氏三代の墓がある。「蓮の寺」としても知られ、手水舎に浮かべた紫陽花も有名。



3 「④福寿院」本堂の右前（道沿い）にお地蔵様（地蔵尊）が3体（尊）安置されています。このお地蔵様はどちらの方角を向いていますか？

() 東 () 西 () 南 () 北

- ◆福寿院は、はじめ、810年からつくられましたが、その後、荒れ果ててしまいました。
- ◆1264年から、空円上人（くうえんしょうにん）が福寿院を再びつくりました。
- ◆昔は、10のお寺があり、この辺り一帯が福寿院の境内（けいだい）でしたが、今は、ここ、一つだけです。この前の道も福寿院の境内でした。
- ◆昭和8年に焼けてしまった、国宝の多宝塔（たほうとう）は、今のかんちゃんラーメンの前にありました。その向こう側には、南大門（なんだいもん）もありました。もちろん焼けてありません。本堂は、空襲（くうしゅう）で焼けました。
- ◆お地蔵さまの向きですが、神様や仏様など偉い方は、普通、南向きに置かれます。しかし、ここ福寿院のお地蔵様はどちら向きでしょうか？南向きではないお地蔵様もあるようです。

4 福寿院(真言宗豊山派)

神亀年間行基の創建、弘仁年中（810-823）弘法大師が伽藍を整備したと伝えられる。文永年中（1264～）空円上人が再興、10坊を構えた。室町期の建立とされ、明治34年に旧国宝に指定された多宝塔は、昭和8年に焼失した。昭和20年空襲により本堂なども焼失している。本尊は十一面観音。



【焼失した国宝・多宝塔】

4 「⑥八剣社」お社の左手にある碑には、センテンセ（判決）、クロタセウ（磔刑火炙り）と彫られています。この碑の正面には何と書かれていますか？

() 開祖空海上人 () 開祖空円上人 () 開祖空圓上人

- ◆八剣社は、古くは福寿院の境内にあり、つまりここも福寿院の一部でした。
- ◆ここにある碑（ひ）は、福寿院を造り直された空円上人（くうえんしょうにん）の碑です。
- ◆江戸時代、農民の間に広がったキリスト教は、江戸幕府の考えに合わないということで、禁止されました。
- ◆この辺りは、田んぼが広がっており、農民の中には隠れて（かくれて）キリスト教を信じる人もいましたが、見つかり、火炙り（ひあぶり）や磔（はりつけ）などにあいました。
- ◆見つからなかった人たちは、ここにある碑の裏側に「センテンセ（判決）」その台座（だいざ）に「クロタセウ（磔刑火焙り）」と彫り（ほり）、隠れて（かくれて）お参り（おまいり）をしていました。本当に「センテンセ」と「クリタセウ」が彫られているか見てみてください。

⑥ 八剣社・ポルトガル語の反抗碑

八剣社は、古くは福寿院の境内であった。「開祖空圓上人」と刻まれた碑の裏側には「センテンセ（判決）」、台座には「クロタセウ（磔刑火焙り）」と文字が彫られている。寛永8年（1631）から、756人のもの人が斬罪・磔に処せられた。難を免れた信者が空円講と称して祀ったといわれている。火炙り刑は一本松塚（現・黒姫神社）で行われた。十字が刻印された主碑と由緒碑は浅野公園に移され、殉教者の霊を慰める「水かけ地蔵」は印田常光庵にある。



5 「⑦一宮城跡」一宮城主であった関長安は、次の誰につかえましたか？つかえた武将すべてに○を付けなさい。

() 織田信長

() 豊臣秀吉

() 徳川家康

- ◆関氏（せきし）は、代々真清田神社の神主（かんぬし）をしており、神社を守るために城をつくりました。
- ◆一宮城は、50mと90mぐらいの広さで、まわりを堀や土塁（どるい）で囲まれ（かこまれ）、武家屋敷（ぶけやしき）のようなものでした。
- ◆南は旧タマコシの東入口あたり、西は旧郵便局の西側辺り、北は旧東宝映画館辺り、東は旧協和銀行の少し東の方だったようです。
- ◆関康正（せきやすまさ）、成重（なりしげ）、長安（ながやす）の三代が城主でした。※武将（ぶしょう）は、当時、いろんな名前がありました。
- ◆関長安（せきながやす）は、はじめ織田信長に、のちに秀吉に仕え（つかえ）、天正（てんしょう）12年（1584）、小牧・長久手の戦いで、討死に（うちじに）しました。
- ◆のち、一宮城は廃城（はいじょう）となりました。
- ◆明治42年、ここにあった屋敷に「一宮第三尋常高等小学校（いちのみやだいさんじんじょうこうとうしょうがっこう）」がつくられ、のち、場所を変えて、神山小学校になりました。※尋常高等小学校は、今の小学校5・6年生です。

7 一宮城跡

関氏は、代々真清田神社の神主をし、社領を守るため城を構えた。東西が約 50m、南北が約 90m の城域を誇り、四方は幅 3.6mの堀と土塁で守られていたという。関長安は、信長、秀吉に仕え、天正12年、小牧・長久手の戦いで討死した。秀吉も立ち寄ったことがあったが、天正18年（1590）廃城になった。神山小学校は、明治42年（1909）、ここ城屋敷跡に「一宮第三尋常高等小学校」として、設立された。



6 「⑧市神堂旧地」には、何を祀った神様が置かれていましたか？

() 一宮市

() 三八市

() 市役所

- ◆三八市（さんぱちいち）は江戸時代に始まり、生活に必要なものや織物売る店が真清田神社の門前（もんぜん）から地蔵寺（じぞうじ）辺りまで立ち並び、とても賑わって（にぎわって）いました。
- ◆この辺りに、三八市の市神（いちがみ）を祀った（まつた）お堂がありました。
- ◆市神とは、市場（いちば）の神様です。
- ◆この辺りは、今の本町通り、江戸時代は岐阜街道が通っており、東西の道と交わった（まじわった）ところで、人の往来（おうらい）も多かったと思われます。
- ◆真清田神社の二の鳥居（にのとりい）がありました。

8 三八市の市神堂旧地

三八市の市神様を祀ったお堂があった。三八市は享保12年(1727)に始まり、日常品や綿の取引が行われ、天保13年(1842)には500以上もの店が真清田神社門前から地蔵寺あたりまで軒を連ねていた。現在でも、はねあげ店が門前両側にその姿を残している。かつて、この辺りは東西の道の交差点で、真清田神社二の鳥居があった。

